

原田鵲齋家

鵲齋・正貞父子二代にわたって良寛と親交が深かった原田家は、ともに医術を業とし、文学的素養も豊かであった。鵲齋はしばしば良寛を訪ね、良寛もまた「閑々舎」「思々亭」と号した原田家を訪れている。原田家茶室は鵲齋が解良家から譲り受けたもので、良寛在世期のものである。同家には「原田史料館」が開設され、「良寛遺愛の手毬」などの資料が展示されていた。

※現在、公開はされていません